

読響 YOMIKYO  
60 Yrs.  
1962-2022

運命を乗り越え、  
歓喜のフィナーレへ！

名匠・尾高がチャイコフスキーの傑作を指揮

# Otaka Tadaaki Conductor

尾高忠明（読響 名誉客演指揮者）

円熟味を増した外柔内剛な指揮で作品の核心に迫る

ヴォーン＝ウィリアムズ：タリスの主題による幻想曲

VAUGHAN WILLIAMS: Fantasia on a Theme by Thomas Tallis

尾高尚忠：フルート小協奏曲 作品30a

OTAKA HISATADA: Concertino pour Flûte et Orchestre, op. 30a

チャイコフスキー：交響曲第5番 ハ短調 作品64

TCHAIKOVSKY: Symphony No. 5 in E minor, op. 64

# 5.19 Thu

読売日本交響楽団 第651回 名曲シリーズ

2022年 5月19日(木)19:00 サントリーホール

S¥7,600 A¥6,600 B¥5,600 C¥4,100

Popular Series No. 651 / Thursday, 19th May, 19:00 / Suntory Hall

# Hristo Dobrinov Flute

フリスト・ドブリノフ（読響 首席フルート）

輝かしい音色と豊かな音楽性で聴衆を魅了！

読響チケットセンター 0570-00-4390 (10時-18時・年中無休)

主催：読売新聞社、日本テレビ放送網、読売テレビ、読売日本交響楽団

助成：文化庁文化芸術振興費補助金（舞台芸術創造活動活性化事業）| 独立行政法人日本芸術文化振興会

# 名匠・尾高忠明が振る《情熱のチャイコフスキー》 父・尚忠の作品で国際派フルート奏者ドブリノヴと共に演!

イギリスをはじめ欧州でも活躍を続ける国際派マエストロの尾高忠明が5月の『名曲シリーズ』に登場。昨年、渋沢栄一のひ孫としてNHK大河ドラマのテーマ曲の指揮を務め、大きな話題を呼んだ。読響とも数々の歴史を刻んできた名匠が、オーケストラから味わい深い音を引き出すだろう。

今回は、チャイコフスキーの交響曲第5番で渾身のタクトを披露する。円熟期のチャイコフスキーの魅力があふれ出る一曲で、哀愁に満ちた美しいメロディや軽快なワルツなど聴きどころが満載だ。終楽章では、壯麗に鳴り響く金管楽器が輝かしいクライマックスを築き上げる。チャイコフスキー作品のなかでも屈指の人気を誇るこの名曲に、尾高は熱い想いを込め、壮大なサウンドで会場に深い感動をもたらすだろう。オーケストラを巧みに操る熟練の指揮に注目したい。

前半は、実力派フルート奏者のドブリノヴが登場し、尾高忠明の父・尚忠のフルート小協奏曲で共演する。本作は、尚忠が完成させた最後の作品。戦中・戦後の激動の時代、39歳の生涯を駆け抜けた彼の“白鳥の歌”からは、色鮮やかでエネルギー溢れるフルートの旋律が流れ出る。ドブリノヴは煌びやかな音色を奏で、作曲家と血を分けた忠明の円熟のタクトは作品に宿る魂を鮮烈に蘇らせるだろう。白熱の共演に期待が高まる。

冒頭は、英国の作曲家ヴォーン＝ウィリアムズの「タリスの主題による幻想曲」を演奏。大小3つの編成で書かれた弦楽器の響きが絶妙に絡み合い、教会のオルガンを思わせるスケールの大きな音響を生み出す。英国音楽を得意とする尾高は、作品の細部まで丁寧にすくいあげて特別な音空間を作り上げるだろう。



尾高忠明（読響 名誉客演指揮者）

国内外の名だたるオーケストラと共演を重ねる日本を代表する名匠。1992年から98年まで読響の第6代常任指揮者として数々の名演をみ、現在は名誉客演指揮者の地位にある。スワロフスキー、シュバーナーゲルらの薦陶を受け、87年にBBCウェーラス響首席指揮者に就任。これまで、東京フィル常任指揮者、札幌音楽監督、メルボルン響首席客演指揮者などを歴任。ロンドン響、ベルリン放送響、フランクフルト放送響、バーミンガム市響などに客演。現在はBBCウェーラス・ナショナル管桂冠指揮者、N響正指揮者、大阪フィル音楽監督、「東京国際音楽コンクール（指揮）」の審査委員長などを務めている。サントリー音楽賞をはじめ、英国エリザベス女王から大英勲章CBE、英国エルガー協会から日本人初のエルガー・メダルなどを受賞。昨年秋、旭日小綬章を受章。

リスト・ドブリノヴ（読響 首席フルート）

抜群のテクニックとのびやかな音色で聴衆を魅了する読響首席フルート奏者。ブルガリア生まれ、ドイツのケルン音楽大学などで学ぶ。ブルガリア国内のコンクールを始め、クーラウ国際フルート・コンクールなどで入賞。首席フルート奏者として、1998年から2005年までドイツのフィルハーモニー・デア・ナツィオーネン、05年から17年までマレーシア・フィルで活躍。西オーストラリア響やオーケストラ・アンサンブル金沢、日本センチュリー響などでは、客演首席奏者を務めた。ソリストとしてJ.S.バッハ、テレマン、モーツアルト、バーンスタインの協奏曲など幅広いレパートリーで共演するほか、リサイタルや室内楽でも活動を展開。18年から読響首席フルート奏者を務め、数多くの名演奏を築いている。

読売日本交響楽団 第651回 名曲シリーズ

2022年5月19日(木)19時開演

サントリーホール

東京都港区赤坂1-13-1 Tel. 03-3505-1001

S ¥7,600 / A ¥6,600 / B ¥5,600 / C ¥4,100

・東京メトロ南北線「六本木一丁目」駅(3番出口)より徒歩約5分・東京メトロ銀座線「渋谷山王」駅(13番出口)より徒歩約7分

学生券 学生の方は、開演15分前に残席がある場合、¥2,000で入場できます(要学生証/25歳以下)。ただし席を選ぶことはできません。開演1時間前から受付で整理券を配布します。

■都合により曲目、出演者等が一部変更される場合もございます。■ご購入いただいたチケットは、公演が中止になった場合以外でのキャンセル・払い戻しはできません。あらかじめご了承ください。■未就学児のご入場は、固くお断りいたします。■マスク着用など、読響の「感染予防対策」にご協力をお願いします。

読響チケットセンター 0570-00-4390

\*10時~18時・年中無休

読響チケットWEB <http://yomikyo.pia.jp/>



プレイガイド

サントリーホールチケットセンター 0570-55-0017

\*座席選択可/チケット郵送料無料